

これからの福祉と医療を実践する会：緊急特別例会 介護報酬改定と介護保険制度改正の見通し

2009/1/30

～ 3%アップを本当の果実とするために～

日本社会事業大学 専門職大学院 ビジネスマネジメントコース

准教授 藤井 賢一郎 氏

施設系サービスではほぼ改定率分のアップと推測

日本社会事業大学専門職大学院の藤井賢一郎氏（ビジネスマネジメントコース准教授）は1月30日、「これからの福祉と医療を実践する会」の緊急特別例会で2009年度介護報酬改定について講演し、介護老人福祉施設（特養）や認知症対応型共同生活介護（グループホーム）などの施設系サービスではほぼ改定率に近い3%弱の引き上げになる一方、基本単位が据え置かれた通所介護（デイサービス）は2%強の引き上げに止まると見通した。



「質を評価する指標の作成に取り組む」と藤井氏

ただ、特養に新設された「日常生活継続支援加算」（22単位/日）については、介護従事者のキャリアの指標となる介護福祉士の配置基準が「6対1以上」と“クリアしやすい要件”なのに対し、質の指標となる入所者の状態は「要介護4～5が65%以上または認知症日常生活自立度 以上」と“厳しい要件”が設定されていると指摘し、従事者の処遇改善の観点からは「キャリアの指標となる要件の方に高いハードルを設定すべきだった」と述べた。さらに、「医療では大学医学部等で医療サービスの質の評価に関する研究が行われているが、介護ではほとんど進んでいない」とし、制度導入を前提とした介護サービスの質を評価する分かりやすい指標の必要性を強調した。

	介護福祉士要件	直接処遇職員 勤続3年要件	看護介護の 常勤割合要件
訪問介護	(特定事業所加算の変更で対応)		
訪問入浴介護	30%以上の場合 +24単位 1.9%		
訪問看護		30%以上の場合 +6単位 0.8%	
夜間対応型 訪問介護	30%以上 +12単位/回		
通所介護 (含認知症)	40%以上 12単位 1.4%	30%以上 +6単位 0.7%	
小規模多機能型 居宅介護	40%以上 500単位 2.7%	30%以上 350単位 1.9%	60%以上 350単位 1.9%
認知症対応型 共同生活介護	50%以上 12単位 1.4%	30%以上 6単位 0.7%	75%以上 6単位 0.7%
短期入所 生活介護	50%以上 12単位 1.3%	30%以上 6単位 0.7%	75%以上 6単位 0.7%
介護老人 福祉施設	50%以上 12単位 1.4%	30%以上 6単位 0.7%	75%以上 6単位 0.7%
認知症対応型 共同生活介護	50%以上 12単位 1.4%	30%以上 6単位 0.7%	75%以上 6単位 0.7%

藤井氏の資料をもとに編集部が作成

老健は新たなサービスモデルに転換を

今回の改定で、介護療養型老健（転換型老健）の単位が引き上げられ、要介護 4・5 は 1000 単位/日を超えたが、藤井氏は「医療に回復期リハができて以降、リハビリが早期化・短期化し、老健本来の役割である在宅復帰への中間施設としての機能が見えなくなった」と、老健の存在意義が揺らいでいる状況を指摘。1月27日に閣議決定された「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の改正案の中で、高齢者向け優良賃貸住宅(高賃貸)の社福法人への賃貸が認められた点にも触れ、「老健の在宅復帰可能な人は、今後は住居系に吸収されていくとしたら、ますます老健の役割がなくなる」と、サービスモデルの転換を促した。

藤井氏は、老健の新たな方向性として、医師や看護師等の配置が厚く、医療サービスが提供できる点を活かしたサービスモデルへの転換を提案。現在より入所者を減らし、地域に密着した“小規模老健”に衣替えして、「地域の拠点として機能することも1つの方向性」とした。また、老老介護など介護力が低くても在宅で看たいというニーズがあることから、2~3カ月ごとに在宅と老健を行き来する“往復型”の機能も提案。老健に小規模多機能型居宅介護を併設することで、在宅における安心も確保できるとした。そのような機能を果たす老健はまだ少ないが、「特養など福祉系の施設にとっては脅威の動きになる」と述べた。

これからの福祉と医療を実践する会 今後の研修会開催予定

日時：3月13日(金) 10:00~16:00

テーマ：在宅療養支援診療所の運営戦略

...経営形態の多様化と集患方法・連携策の実際

講師：オーシン株式会社代表取締役 中村 哲生 氏

会場：戸山サンライズ 大会議室

参加費：会員 ¥20,000 会員外 ¥30,000 (昼食・資料代込み、当日支払)

定員：50名(申込順、定員に達し次第締め切り)

申込先：これからの福祉と医療を実践する会 事務局

電話：03-5834-1461 E-mail：jissensurukai@nifty.com